

研究課題名	診断群分類の精緻化とそれを用いた医療評価の方法論開発に関する研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	腎臓内科 高橋 大栄
研究期間	(西暦) 2024年4月 ~ (西暦) 2026年3月
研究の意義・目的	<p>DPC包括評価において、DPC調査データの分析に基づいて平成22年度から暫定的に医療機関機能評価係数Ⅱが導入されたが、それらの指標の妥当性の評価とその他の指標に関する検討が必要である。</p> <p>そこで本研究では、1) 診断群分類の精緻化、2) 診断群分類を用いた医療評価の方法論機能評価係数の精緻化、3) 診断群分類を活用するための標準的医療情報システムの確立、の3つの検討を行うことで、DPCに基づく包括評価制度の円滑な運営に資するための基礎資料を作成することを目的とする。</p> <p>本研究の成果はDPC制度の設計維持およびDPCデータを用いた医療評価手法の開発・発展に貢献することが期待される。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>本研究では厚生労働省のDPC調査に参加している病院が厚生労働省に提出している匿名化患者情報（患者要約、レセプト情報）を使用する。</p> <p>DPC調査データは、DPCを用いた医療費支払い制度の対象となる医療機関が、厚労省に提出するデータと同一のもので、患者の年齢、性別、診断名、治療内容、医療費等の情報を含む。本研究では診療録情報等の対象患者の個人情報を用いることは無い。研究遂行者は、各自の分析に必要なデータを匿名化された状態で切り出し解析を行う。本研究の開始前に既に匿名化されている既存データ（特定の個人を識別することができないものであって対応表の提供を受けないもの）を利用するため特に研究対象者からの同意は得ない。</p>
①試料・情報の利用 目的および利用方法	①上記の通り
②利用し、又は提供する 試料・情報の項目	②上記厚生労働省のDPC調査に参加している病院が厚生労働省に提出している匿名化患者情報（患者要約、レセプト情報）DPC関連データ（様式1、様式3、D/E/Fファイル）
③試料・情報の取得 の方法	③上記の通り
④利用する者の範囲	④東京医科歯科大学病院をはじめとする27施設の研究担当者
⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	⑤研究代表者 高橋大栄 ならびに 武蔵野赤十字病院院長 黒崎雅之
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 腎臓内科 氏名 高橋大栄</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>